

1. 日時 令和3年4月23日（金）午後6時00分～午後7時00分

2. 出席者

豊泉会長、白川副会長、和田委員、稲葉委員、小坂委員、坂本委員、内野委員

3. 報告

1) 事業報告及事業予定について

事務局より資料2-1「歴史民俗資料館・古民家園来館者数一覧」、昨年度1月から3月までの事業報告資料2-2「歴史民俗資料館・古民家園事業報告」、5月から7月までの事業予定資料2-3「歴史民俗資料館・古民家園事業予定」にそって報告。

コロナウイルスの影響により、団体見学・事業参加者数は人数を制限している。試飲食を伴う講座等については、当分の間中止する予定である。今後も感染状況により、対策ガイドラインに従って事業開催したい。

2) 埋蔵文化財調査及び調査報告書について

事務局より、昨年度2月から4月までに現地調査を行った資料3「埋蔵文化財調査報告」に沿って報告。加えて、昨年度行った国宝石幢の新保存庫建設に伴う本発掘調査が完了し、調査報告書を関係機関へ送付したことを報告。

3) 令和3年度文化財保護に要する予算の概要について

事務局より、資料4「令和3年度文化財関係歳出予算表」に沿って報告。

令和3年度は前年よりも事業の予算が増え、施設維持管理に関する予算が減っている。歴史民俗普及活動事業で資料館に収蔵する古い映像フィルムについて、映写機など媒体が無く閲覧できないものをDVDに媒体変換して、閲覧可能にする複製化委託の予算が認められた。

4) 令和3年度歴史民俗資料館・古民家園事業計画について

事務局より、資料5「歴史民俗資料館・古民家園事業計画表」に沿って報告。

特別展示室を使用するものは新収蔵品展、遺跡展、秋の展示、昔の道具の展示を計画している。加えて、体験学習は月に1回のペースで実施していく予定である。体験学習に関しては、コロナウイルスの影響により人数を制限する等の対策を取って行っていく。

委員：展示や体験学習はYOUTUBEを使い、配信してみてはどうか。来館者のみでなく、サイトの閲覧者も実績にカウントするのはどうか。

事務局：検討します。

5) 国宝「石幢」の修理事業等について

事務局より、資料6「国宝石幢防災・修理事業に係る長期計画（予定案）」に沿って報告。石幢の解体について難工事となっている。令和2年度は笠部と板石1枚であったが、令和3年度は残りの板石5枚を取り外す予定である。

防災事業については、夏頃から新保存庫の建設を開始する。建物の完成は1年後の令和4年の夏を予定している。修理事業は地上部の解体を全て終え、京都に搬送する。令和5年度まで京都で修理を行った後、令和6年度に新保存庫へ設置して事業が全て完了する計画を立てている。

6) 歴史民俗資料館施設整備計画について

事務局より、資料7「立川市前期施設整備計画整備順序方針」に沿って報告。  
施設のあり方について、前期（令和3～5年度）歴史民俗資料館の施設整備は見送りに  
なった。必要に応じて修繕等をしながら、令和6年以降に再度施設のあり方、施設整備  
等を検討することとなった。

2. 議 題

1) 文化財指定及び未指定文化財の調査について

事務局より、資料8「文化財指定及び未指定文化財の調査について」に沿って説明。  
事務局：前回に引き続き指定候補の文化財について各所有者と連絡を取り、市指定の同  
意を得る交渉を行っている。コロナウイルス等の影響もあり、調査等が進んでいないが、  
今後も所有者の意向を確認しながら説明をしていきたい。

昨年、立川の歴史散歩を編集する過程で、石造物や自然植物などの調査が昭和50年代、  
平成の初期で止まっていることに気付いた。有形文化財以外にも記録を残していかなけ  
ればならない。館外の未指定文化財について、調査方法や予算化について検討してい  
きたい。

委員：ゆくゆくは無くなってしまうものもあるので、ぜひ進めて行ってほしい。

委員：自然・植物に関しては、いわゆる二次林など、屋敷林は植生調査をしていかないと、  
どんなものが生えていたのか分からなくなる。年に3回程度で良いので、中に入っ  
て調査してみてもどうか。

事務局：長い時間を要するが、計画を立てて進めていきたい。

次回開催予定：令和3年7月30日（金）午後6時～